

～まちづくり研究会取材報告～

環境分科会・福祉介護分科会合同見学勉強会を実施

(空き家対策と利活用の情報入手)

見学団体先:NPO 法人 すまいるセンター

(泉北ニュータウン 槇塚台地区)



平成29年11月2日(木)午後1時30分より午後3時30分 NPO 法人すまいるセンターが空き店舗改修事業として整備したコミュニティーレストラン(槇塚台地域レストラン)や府営住宅改修事業として行った高齢者支援住宅の見学、これまでに至る経緯と提案事業の情報・意見交換を行いました。

今、堺市・泉北ニュータウンでは、高齢化や地域や家族との関係が薄くなり、社会から孤立する人が増えている状況である。特に公的賃貸が住宅の52%を占めている。

最近では公的賃貸住宅、一戸建て住宅の空き家が増加しており、大きな課題になっている。



到着後、センターが運営する「槇塚台レストラン」にて昼食をする



昼食後、センター代表の西上氏より設立の経緯、今進めている事業の説明を受ける



センターの副代表、また社会福祉法人を運営されている西尾氏より改修後の利活用の説明を受ける



府営住宅を改修し、高齢者支援住宅として利用されている。利用目的は、介護疲れの軽減、友達同士の集まり等民間運営ならではの利点がある



風呂は1階(共用室)にあり、温泉気分の快適な気分になれる。賃貸住宅とは思えない雰囲気である



収納庫、空調、電話、テレビ、電子レンジ、ポット、IHヒーター、冷蔵庫、ドライヤーなど完備が行き届いている。遠方からの来客用にも活用。見守りなしなら1泊2日で1200円余りとか・・・

泉北ニュータウンと狭山ニュータウンは高齢者、高齢者向けの住宅不足、生活を支えるサービス等類似する点が多い。今後10年先の環境を考えると、“ほっとけない”気持ちが湧いてくる。「まちづくり研究会」では、何ができるのかを手始めに環境・福祉面から情報交流を行った。

～民学産官の連携団体～

【事業主体】

NPO 法人 すまいるセンター

(平成12年4月発足、会員172名)

【榎塚台地区】

榎塚台自治連合会

NPO 法人榎塚台助け合いネットワーク

【福祉施設】

社会福祉法人美木多園等

【大学】

大阪市立大学、大阪府立大学、大阪物療大学

帝塚山学院大学

プール学院大学

【行政】

堺市ニュータウン地域再生室、高齢化施策推進課、



戸建て空き家を改修、障害者のコミュニティの場として利活用される予定。今まで整備されたのは店舗コミュニティレストラン(食事の提供、配食、イベント、販売拠点等に利用)や住宅等

▶ 今日までの府営住宅改修事業の整備概要

・一時的な見守り付き住宅の提供を目的とした整備

第1期:3住戸 6室整備(平成22年度)

第1期:1住戸 1室共有室整備(平成22年度)

第2期:3住戸 6室整備(平成24年度)

戸建の住宅改修事業(平成24年度)

・長期の利用を見込んだ住戸の整備(1住戸整備)



榎塚台地区にある近隣センターが築44年となり、営業店舗が少なく、施設機能が成りたたくなくなっていた。高齢者にとって住みにくい街になっていることから、民間の法人を発足した。

もう一度この地区に元気を取り戻そうと「民学産官の連携」のもと、平成22年度に国土交通省「高齢者等居住安定化推進事業」に対し、空き家等を解消するために、福祉転用により住環境整備する“新近隣住区論”を大学の支援を受け事業提案を行った。結果、助成を受けることが決まり、学生によるアイデアを活用しながら、現実にあった整備が進んでいった。

狭山ニュータウンの状況は高齢者を中心にさまざまな課題・問題点が起こってくるものと思われる。これらに対応すべき支援体制を早期に構築していくことが必要になっている。

当研究会(環境分科会・福祉介護分科会)として、「空き家問題と福祉での利活用についての第一歩を踏み出す手掛かりとしたいとのことでした。